

2022 年度 小委員会活動成果報告

(2023 年 2 月 8 日作成)

小委員会名	PC 耐震設計小委員会	主 査 名：谷 昌典 就任年月：2022 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (プレストレストコンクリート構造運営委員会)	委員長名：五十田博 (主 査 名：阿波野昌幸)
設 置 期 間	2020 年 4 月 ～ 2024 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>プレストレストコンクリート (PC) 構造は、利用価値の高い空間の実現、高耐久性、常時荷重に対する性能など優れた性能を有している。大地震に対しても残留変形の少ない良好な性状を示すが、その現在の構造性能評価法は万全とは言えない。本小委員会では、PC 架構の地震応答解析法や設計用解析法の整備を行い、新たな PC 耐震設計法の構築に向けた検討を行う。その成果として、PC 構造の保有水平耐力設計法や限界耐力計算法をブラッシュアップした性能設計法を提示し、またその留意点を示すことを目標とする。</p> <p>初年度：PC 保有耐力指針 (案) の課題の抽出および PC 性能評価指針 (案) 耐震設計編のブラッシュアップ (PC 構造の耐震設計法に関する課題の抽出)、PC 規準の改定</p> <p>2 年度：PC 保有耐力指針 (案) の課題の整理と対応策の検討および PC 性能評価指針 (案) 耐震設計編のブラッシュアップ (アンボンド PC などの耐震設計法、地震応答解析法の検討)</p> <p>3 年度：PC 保有耐力指針 (案) の課題に対する対応策の評価および PC 性能評価指針 (案) 耐震設計編のブラッシュアップと改定原案作成 (アンボンド PC などの耐震設計法、地震応答解析法の検討)</p> <p>4 年度：PC 保有耐力指針 (案) の改定原案作成</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	主査：谷昌典 (京都大学) 幹事：馬上恵 (建研)、二村有則 (鹿島建設) 委員：河本慎一郎 (大成建設)、小池正大 (ピーエス三菱)、河野進 (東京工業大学)、重松謙佑 (オリエンタル白石)、島崎和司 (神奈川大学)、杉本訓祥 (横浜国立大学)、高津比呂人 (竹中工務店)、長沼一洋 (日本大学)、傅金華 (日中コンサルタント)、深井悟 (日建設計)、丸田誠 (静岡理工科大学)	
設置 WG (WG 名：目的)		
2022 年度予算	70,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス： —

項 目	自己評価
委員会開催数	2 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	
大会研究集会	

<p>対外的意見表明・パブリックコメント等</p>	
<p>目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)</p>	<p>1. アンボンド PC 部材を含む PC 架構の保有水平耐力設計法の検討などを議題として、PC 保有水平耐力計算指針（案）の改定方針について議論を行った。 2. PC 性能評価指針（案）の改定方針について議論を行い、小委員会担当箇所について改定が必要な項目の抽出、改定作業の役割分担およびスケジュール案を作成した。</p>
<p>委員会活動の問題点・課題</p>	<p>なし</p>